2026年度　民間等奨学金(個人応募)　　2026.10.27現在

●個人応募(希望者は各自で募集元に申請をしてください)

| | 民間等奨学金 | 募集対象 | 応募方法 | 募集人数 | 貸与または給付 | 金額 | 応募用紙入手・リンク先 | 財団・団体提出期限 | 提出方法 | 学内指定提出書類 | 注意点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 64 | 2027年度<br>公益財団法人<br>蔵人記念財団 | 次の各号の全てに該当する方<br>(1)2027年1月1日時点において日本国籍で大学1年生の方<br>(2)世帯年収が目安として400万円(税込み)以下であること<br>※兄弟姉妹多数など他の経済的理由で就学が難しい方も対象となりますので、その場合は願書の「その他連絡事項等」欄にその旨をご入力ください<br>(3)親権者、未成年後見人、生計を同じくする方等の保証人による同意を得ている方<br>(4)本人、親権者、未成年後見人、生計を同じくする方等が反社会的勢力ではないこと<br>(5)日本国内にある大学で、農学部、畜産学部、水産学部、栄養学部及びそれらに準ずる学部・学科(獣医学は除く)に在籍している者 | 個人応募 | 全国:12名 | 給付 | 月額40,000円 | https://www.kurodo-foundation.or.jp | 2027/1/31(日)当日消印有効※お近くの郵便局の営業日をご確認ください。 | Web登録後に書類を郵送(必着) | — | <応募方法><br>(1)本ホームページ上の応募フォームに必要事項を入力して送信<br>(2)エントリー自動返信メールにリンクされている応募書類をダウンロード<br>(3)応募書類に必要事項を入力(記載)、その他応募書類を取得<br>(4)応募書類一式を事務局宛に郵送<br>(5)2月書類選考、3月面接、3月下旬結果連絡<br><br>※給付は大学2年次より行います。 |
| 63 | 2027年度<br>社会福祉法人　さぽうと21<br>就学支援(奨学金) | 【在留資格】<br>日本に住んでいる外国にルーツをもつ学生で、2027年4月に日本の大学に通学中(3年生以上)、または大学院に在籍・進学見込みで、以下のa またはb に該当する方<br>a) 難民とその子など、本人／親が難民またはそれに準ずる背景により来日した方<br>b) 原則として「定住」「永住」の在留資格をもつ方<br>※1 既に日本国籍になった方も含む<br>※2 在留資格が「留学」の方は対象外<br><br>【学校】<br>支給年度に大学3年生以上または大学院在籍の方<br>(4月に大学3年生になる人や、大学院に入学予定の人も応募できます)<br><br>【経済状況】<br>経済的な理由で、学業の継続が難しい方 | 個人応募 | 20名程度 | 給付 | ■ 大学院生:72～120 万円 ／ 年<br>■ 大学 生:60 ～100 万円 ／ 年 | https://support21.or.jp/wp/wp-content/uploads/2026/10/e3c338793b8a673f9c28d211df8b2b07.pdf | 2026 年11 月 20 日(金)必着 | レターパック、簡易書留(郵便局窓口)、持ち込み | — | ※返済の義務なし<br>※他の奨学金と重複して応募可<br>※夏期研修会への参加(8月)<br>※研究報告会での発表(11月)<br>※研究活動等近況報告(毎月) |
| 62 | 2027年度<br>一般財団法人　TCS奨学金 | (1)日本国内に居住し、日本国籍を有していること。<br>(2)日本国内の四年制大学及び修士課程大学院(通信・夜間を除く、以下「大学等」という)に2026年度に在学しており、2027年4月時点で大学2年生から大学4年生又は大学院1年生、大学院2年生に進学・進級見込みであること。<br>(3)最短修業年限で卒業見込みであること。<br>(4)修得単位数が標準単位数(※1)以上で、直近の学業成績につきGPA(平均成績)が3.3以上(標準化GPA計算書の換算値)であること。<br>(5)学修計画書の提出により、将来、社会で自立し、活躍する目標をもって大学等における学修意欲を有していることが確認できること。<br>(6)本財団が企画する行事(懇親会2027年5月等)への参加に協力することができること。<br>※応募に際して、世帯の所得水準に関する制限はございませんが、審査基準事項の一部となります。<br>※他の給付型・貸与型奨学金受給の有無に関する制限はありません。<br>※1 標準単位数 ＝ 卒業必要単位数 ÷ 修業年限 × 在学年数<br>※ Only for the Japanese students. | 個人応募 | 【Aグループ】・・・大学2年生～大学4年生　15名程度<br>【Bグループ】・・・大学院1年生及び大学院2年生　15名程度<br>※学年はいずれも2027年4月時点における学年です。 | 給付 | 月額5万円<br>(隔月給付・年間60万円) | https://tcs-foundation.or.jp | 2026 年 10 月 13 日～2026 年 11月 27日 | Web申請 | — | ※注意事項など募集要項を熟読のこと。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 61 | 2027年度助成金<br>公益財団法人バロック村井博之財団<br>(Baroque Murai Hiroyuki Foundation) | ① 日本国内に居住する者で、日本国内の大学(含む大学院)に在学する日本人学生及び外国人留学生。<br>② 応募は主体的活動を行うグループの代表者が行い、同一グループからの出願は 1 件までとする。<br>③ 本財団が企画する行事(研究発表会 等)への参加に協力することができる者。<br>④ 助成期間終了時(2028 年 3 月 31 日)まで学生であることが見込まれる者。<br>※助成対象は『衣』『食』『住』など生活に密着したサステナブルな社会発展に寄与する活動(研究・開発を含む)で、持続可能な開発目標(SDGs)ゴール(募集要項参照)<br>※ 3 年以内に受給した者は選考時の優先順位を考慮することがあります。<br>※International students can also apply. | 個人応募 | 5名 | 給付 | 助成金額は1件上限80万円予定<br>※申請された活動に係る費用総額の一部に充当されるものを認めます。<br>※採択にあたり本財団は予算の減額調整を行うことがあります。 | https://baroque-murai.or.jp/subsidy/ | 2026 年 10 月 1 日～2026 年 11月 13 日(当日消印有効) | 郵送・<br>当日消印有効 | - | ※注意事項など募集要項を熟読のこと。 |
| 60 | 2026年度<br>一般財団法人<br>生涯学習開発財団<br>事務局 | ・満50歳以上(2026年12月31日現在)<br>(性別、国籍、所属を問わない)<br>・日本国内在住者<br>・日本国内の大学で博士課程在籍者、もしくは論文博士号取得希望者<br>・当財団Webサイトおよび広告媒体にて<br>氏名・年齢・写真・研究タイトル・論文要旨などの公開を了承し、インタビュー取材に応じる者<br>・授与式に出席を了承する者(2027年3月12日開催予定) | 個人応募 | 6～15名程度 | 助成金の支給 | 一人50万円を2027年3月に支給予定 | https://www.gllc.or.jp/project/doctorate/doctorate-application/ | 2026年12月4日(金)必着 | 郵送 | — | |
| 59 | 2027年度<br>公益財団法人本庄国際奨学財団 事務局<br>Honjo International Scholarship Foundation | (すべての資格に該当すること)<br>1. 日本国籍を持つ者。<br>2. 2027 年 4 月時点で大学院に在籍している者。または 2027 年 4 月に入学を予定している者。申請時にすでに在籍している方、申請時に在籍していない(社会人である)方も応募可能です。<br>3. 2027 年 4 月時点で在籍期間が残り 1 年以上あること。<br>4. 専門職大学院は原則的に対象外ですが、研究計画書を提出できる場合は、応募可能です。<br>5. 博士課程はすでに在籍中の場合は35歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に35歳以下であること、<br>修士課程はすでに在籍中の場合は30歳までに入学していること、これから入学する場合は入学時に30歳以下であること。<br>6. 大学院修了後は母国に貢献する将来計画を持つ者。<br>7. 国際親善や交流に理解を持ち、財団で行う行事や同窓生ネットワークに積極的に参加または協力できる者。<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 全国: 若干名 | 給付 | (1) 月23万円<br>(1～2年間)<br><br>(2) 月額21万円<br>(3年間)<br><br>(3) 月18万円<br>(4 ～5年間)<br><br>※他に国際学会に出席するための費用が、奨学金支給規程に基づき支給 | https://www.hisf.or.jp/scholarship/graduate-school/ | 2026 年 9 月 1 日～2026 年 10 月 31 日(奨学金オンライン申請システムの稼働期間) | 1. 奨学金オンライン申請システムより必要事項を入力し、下記 3－1の画像・動画ファイルを、3－2 の書類は PDF ファイル<br>でアップロードしてください。<br>奨学金オンライン申請システム→<br>https://entry.hisf.or.jp<br>2. 入力後送信完了すると申請受付番号が発行されます。<br>審査結果発表はホームページに申請受付番号を記載する形で行いますので、必ず番号を控えてください。 | — | ・奨学金受給期間中は下記以外の他の奨学金を受給することはできません。<br>● 日本学術振興会特別研究員<br>● 国立研究開発機構科学技術振興機構(JST)によるフェローシップ(JST が他の奨学金との重複受給を認めているものに限る)<br>● 独立行政法人 国際協力機構(JICA)が行う奨学金<br>・奨学金受給中は、就職をしてはいけません。アルバイトも禁止です。ただしティーチングアシスタント、リサーチアシスタントなど大学や研究に関する仕事ならびに通訳、翻訳、国際交流事業の手伝いなど国際交流に関する一時的な仕事、学位取得<br>や将来の仕事のために必要なインターンシップは除きます。<br>・奨学金受給中は年 4 回面談するほか、財団で行う行事等に参加することが求められます。<br>・大学院修了後も同窓会などへ積極的に参加することが求められます。 |
| 58 | 山口県高度産業人材確保事業に係る奨学金返還補助制度 | 次の1～3のいずれにも該当する方<br>1.応募時点で、奨学金(経済的な理由で就学困難な学生を支援するために国、地方公共団体、大学、(独)日本学生支援機構その他知事が適当であると認めるものが当該学生に対して貸与する資金で貸与を受けた本人が返還義務を負うものをいい、山口県内での就業又は居住等を要件として返還額の全部又は一部が免除されるものを除く。以下同じ。)の貸与を受けている方又は貸与の申請をしている方<br>2.応募時点で大学院修士課程(博士課程前期を含み、一貫制博士課程を除く。)の1年生で、工学研究科、理学研究科、農学研究科若しくは薬学研究科(これらに相当する研究科を含む)に在籍<br>3.大学院修士課程修了又は大学卒業した日の属する年の翌年の4月末日までに製造業を営む企業(製造業を営む企業が100パーセント出資する非製造業の企業であり、かつ、主として出資者である企業の製品の製造に関する業務を行っていると認められるものを含む。)の県内の事業所又は情報サービス業を営む企業の県内の事業所で就業することを希望する方 | 個人応募 | 25名程度<br>(内薬剤師枠5名含む) | 卒業後の返還支援 | 補助対象期間の月数÷72×奨学金の返還額(※)<br>※対象者に決定された年の4月から2年間に貸与を受けた金額に限ります。<br>※有利子奨学金の場合、利息は補助対象外です。<br>※補助金額は、(独)日本学生支援機構の無利子奨学金の最高額が上限です。<br><br>(参考)<br>6年間の県内製造業又は県内情報サービス業での就業で最大補助となります。 | https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/255/202864.html | 2026/9/30(水) | 持参、郵送<br>(当日消印有効)<br>Eメールでの提出可 | - | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 57 | 2026年度<br>公益財団法人<br>鎌田記念財団 | 当財団の奨学生となるものは物流・ロジスティクスを学ぶ四年制大学生および大学院生であり、次のいずれにも該当する者。<br>1.日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者<br>2.将来社会的に有益な活動を目指す者<br>3.学業成績が優秀であること（下記のいずれかに該当すること）<br>在校生の場合、大学入学時から直近までの学業成績において、GPA(平均成績)が2.4以上であること<br>新入生の場合、高等学校等における評定平均が3.5以上であること<br>4.高等学校卒業程度認定試験の合格者であること<br>5.下記のような物流・ロジスティクスに関連する科目を履修できる学科に在籍していること<br>主な科目<br>Dロジスティクス特殊研究講義、IoTロジスティクス実践講座、Mロジスティクス研究１・２.演習、Mロジスティクス研究１・2講義、SCM論（サプライチェーンマネジメント論）、グローバル・ロジスティクスⅠ・Ⅱ、グローバルロジスティクスと海運、グローバルロジスティクスと貿易、グローバルロジスティクス論ⅠⅡ、サプライチェイン・マネジメント特論 など<br>※上記は一例であり、経済学部・経営学部において流通・サプライチェーン・国際経済・経営戦略等の関連分野を学ぶ学生も、出願対象に含まれます。 | 個人応募 | 27名上限 | 給付 | 年額36万円を<br>一括振込 | https://kamatamemorial.org/requirements/ | 2026年7月15日(水）から<br>8月31日（月）まで<br>※当日必着 | オンライン申請　又は　郵送 | - | ※学校を通しての出願はしません |
| 56 | 2027年度<br>公益財団法人<br>渥美国際交流財団 | 1. 日本の大学院博士課程に在籍し、当財団の奨学金支給期間に博士号を取得する見込みのある方。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。<br>2. 渥美奨学金の受給期間に、所属する大学院研究科（研究室）と居住地が、関東地方（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・群馬県）または近畿地方（大阪府・京都府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県・三重県）にある方。<br>3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動（下記参照）に積極的に参加する意思のある方。<br>4. 日本語が堪能な方（応募書類と面接は全て日本語だけです）。日本人は外国語能力が高いことが望ましいですが、条件ではありません。<br>5. 渥美奨学金の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学金を受ける予定のない方。<br>（当財団は常勤職の方の受給、および月額 10 万円以上の他の奨学金との重複受給は認めません。） | 個人応募 | 2027 年度<br>18 名程度<br>（但し、同じ出身国/地域からの奨学生は 5 名を上限） | 給付 | 月額 25 万円<br>※海外の大学院より博士号を取得するために日本で研究する方で、応募時に海外在住で奨学期間のみ日本へ留学する場合は航空券代を補助します。 | https://atsumischolarship.aisf.or.jp/ | 2026年9月1日（火）<br>～2026年9月20日（日）<br>オンライン申請 | オンライン申請 | - | ※支給期間は2027年4月～2028年3月または2027年9月～2028年8月の1年間（継続なし） |
| 55 | 2027年度<br>公益財団法人吉田育英会<br>(Yoshida Scholarship Foundation)<br>＜日本人派遣留学プログラム＞ | ・日本国籍を有する方。<br>・2026年４月１日現在において35歳未満である方。<br>・奨学生採用内定後、2027年４月から2028年３月までの間に新たに留学を開始する方。すでに留学中の方の支援は行いません。また、当プログラムの支援による留学開始前に行う、学部・大学院での留学期間の合計が１年を 超える、または超える見込みの方は対象となりません。<br>・2026年４月１日現在において日本の大学に在籍している方(学生、教育研究職の別を問わない。大学付置研究機関を含む)。<br>・日本の大学の学士号以上の学位を留学開始までに取得している方。<br>・次のいずれかを留学の目的とする方。<br>①海外の大学の博士号を取得すること。<br>②海外の大学院同等の研究機関で研究を行うこと(日本の大学の博士号を留学開始までに取得している場合のみ。いわゆるポスドク研究員。留学期間は2年間であることが望ましい。)<br>③海外の医学医療・公衆衛生系大学院で専門学位を取得すること、または同等の研究機関で研究を行うこと（日本の医師免許を留学開始までに取得している場合のみ)。<br>・私費留学生である方。民間企業から派遣される留学生は対象となりません。また、留学中に給与収入のある方は対象になりません。<br>・原則として他の奨学金との併給は認めません。ただし、留学先の大学から支給される奨学金や、TA、RA等による収入を除きます。<br>・留学先で支障なく勉学、調査、研究を行う語学能力のある方。英語圏に留学する方は、奨学金の応募に先立ち、TOEFL(団体向けのITPテストは不可)またはIELTSをあらかじめ受験してください。英語圏以外の国に留学し、当該国の言語を主に研究に使用する方は、ZD(ドイツ語)・DAPF(フランス語)等の試験をあらかじめ受験してください。留学に際して望まれる語学力（英語圏）<br>TOEFL IELTS（アカデミック・モジュール）専攻分野が理系の場合 iBT88 点 6.5<br>・家計基準（世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等）はありません。 | 個人応募 | 5名程度 | 給付 | ・生活滞在費として奨学期間を通じて月額2,500米ドル<br>・留学先の大学に納付する授業料等、または奨学期間中の学術研究のための費用（研究費）として奨学期間内に合計25,000米ドル以内の実費<br>・往復の渡航に要する交通費<br>※授業料等には、入学金、授業料及び学生健康保険料等の大学に納付する費用を含みます。なお、入学金は複数の大学に合格した場合も実際に入学する1校分のみを支給します。<br>（奨学金は非課税） | https://www.ysf.or.jp/scholarship/visitor/universal/os_guideline.html | 2026年9月4日（金） | 郵送・必着 | - | ※募集・申請手続きは(2)公募の場合をご覧ください。<br><br>※奨学金の対象分野：人文科学系分野（語学研修、藝術の実演・制作及びそれらの研修を目的とするものは除く）、社会科学系分野、自然科学系分野（工業、農学、医学等の応用分野含む） |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 54 | 一般財団法人<br>日本科学未来財団 | ・大学、大学院に在籍する者。または次年度以降の入学が確定している者<br>・卓越した研究実績またはそれに準ずる成果を有する方<br>・研究に強い情熱を持ち、さらなる成果が期待される方<br>・日本の研究環境改善に強い関心を持っている者<br>・将来的にリーダーシップを発揮する志を持つ方<br><br>補足<br>※自然科学・人文社会科学を問わず応募可能。<br>※博士課程後期4年目以降も対象。<br>※他奨学金との併用可。<br>※卓越した研究実績の具体例：日本学術振興会特別研究員（DC1・DC2）採択者、学術団体・学会等から高い評価を受けた方、またはこれらに相当する実績を有する方。 | 個人応募 | 5～10名程度 | 給付 | 1名あたり最大150万円 | https://japan-future-science-foundation.org/scholarship | 2026年7月30日（木）<br>まで | 応募フォーム | ― | |
| 53 | 2026年度<br>一般財団法人<br>オカノ電機財団 | 次の各号のいずれにも該当しなければなりません。<br>① 日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者<br>② 日本国内の大学及び大学院に在籍していること<br>③ 将来、社会的に有益な活動を目指す者<br>④ 下記何れかの分野に関連する科目を履修できる学科に在籍<br>＜関連分野＞<br>機械工学系、電気電子工学系、情報工学（画像処理・制御）系<br>⑤ 給付期間すべてに、修学している学校に在籍していること（休学は対象外）<br>⑥ 志願者が応募年4月1日の時点で18歳未満の未成年の場合、保護者の合意が得られていること<br>※血縁関係のない保護者：里親（児童福祉法に基づく）、法定後見人（未成年後見人等）、児童養護施設等の職員等<br>⑦ 次のいずれかの学業成績を対象として、その成績が以下のア～エの通り優秀であること<br>ア．標準化GPA（平均成績）が2.4以上<br>・大学・大学院の在校生（2年生以上）の場合は、当該学校の入学時から直近までのGPAを基に算出<br>・大学院の新入生（1年生）の場合は、大学在籍時におけるGPAを基に算出<br>・大学の新入生（1年生）の場合は、高等学校3年時における評定平均 | 個人応募 | 8名程度 | 給付 | 月3万円<br>（年額36万円） | 募集要項 | 2026年6月15日（月）<br>～2026年8月15日（土）<br>当日必着 | オンライン出願<br>又は郵送のみ | ― | ※学校を通しての出願はしません |
| 52 | 2027年度<br>公益財団法人<br>キーエンス財団<br>【大学院（修士課程）】<br>奨学生 | 以下のいずれの各項にも該当する者<br>・2027 年4 月に日本の大学院（修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程、一貫制博士課程前期）に入学する者（2 年制の正規学生に限る。ただし通信教育課程、夜間課程及び長期履修制度、並びに留<br>学生を除く。）<br>・2027 年4 月1 日時点で、24 歳以下である者<br>・経済的な支援を必要とする者<br>・入学予定の大学院が当財団からの求めに応じ選考に必要な情報を提供することに同意できる者<br>※ 他の奨学金との併用について<br>（併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること）<br>・貸与型奨学金：併用可<br>・給付型奨学金：併用不可（ただし海外留学支援の奨学金は併用可）<br>・授業料等減免制度のうち現金が給付されるのではなく、大学院に納付する授業料が実際に減額又は免除される制度：併用可 | 個人応募 | 100名程度 | 給付 | 月額12万円<br>（年額144万円） | 募集要項 | （一次選考）<br>WEB登録　2026/10/1(木)<br>～11/13(金)午前10時まで<br><br>（二次選考）<br>書類提出　2026/11/25(水)<br>～12/24(木)<br>当日消印有効<br><br>WEB登録　2026/11/25(水)<br>～12/24(木)午前10時まで | WEB登録及び書類郵送※レターパック等追跡サービスのあるものにすべての書類を入れてください。不足の場合はいかなる理由でも受理しません。 | ― | ※レターパック等、A4サイズの封筒1通にすべての書類を入れてください。書類の不足があった場合は、いかなる理由であれ受理しません。お送りいただいた書類は返却いたしません。<br>※ 書類到着に関する問い合わせには対応いたしかねます。到着確認は、レターパック等の追跡サービスをご利用ください。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 51 | 2027年度<br>公益財団法人<br>キーエンス財団<br>貸与奨学金返還支援 | 以下のいずれの各項にも該当する者<br>なお、他の奨学金等との併用についての制限はありません。<br>・2027 年3 月に日本の大学を最短修業年限(*)にて卒業する見込がある者(早期卒業者を含む。4 年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。)<br>・2026 年4 月1 日現在、23 歳以下である者<br>・JASSO の貸与奨学金(第一種奨学金・第二種奨学金)を受けている者<br>・返還期限猶予(※)の対象者は除く。<br>・当財団の4 年間給付型奨学金を受けたことがない者<br>・在籍大学が当財団からの求めに応じ選考に必要な情報を提供することに同意できる者<br>・勉学に励み価値ある大学生活を送っている大学生<br>＊ 最短修業年限とは以下の通りです。ただし、休学期間は除きます。<br>＊ 編入学者については、編入学前の学校(大学、短大、高専など)での在籍期間が最短修業年限であること<br>(留年をしていないこと)が必要です。<br>応募者の入学形態 最短修業年限<br>1 年次からの入学 4 年間<br>2 年次からの編入学 3 年間<br>3 年次からの編入学 2 年間<br>4 年次からの編入学 1 年間<br>※ 返還期限猶予<br>災害、傷病、経済困難、失業などの返還困難な事情が生じた場合に返還期限の猶予を願い出る制度(留年をしていないこと)が必要です。 | 個人応募 | 400名程度 | 返還支援 | 返還総額の50%を一括返還(ただし、最大240万円まで、当財団からJASSOへ直接返還) | 募集要項 | (予備選考)<br>WEB登録　2026/10/1(木)<br>～11/20(金)午前10時まで<br><br>(本選考)<br>書類提出　2026/12/1(火)<br>～2027/1/22(金)<br>当日消印有効<br><br>WEB登録　2026/12/1(火)<br>～2027/1/22(金)午前10時まで | WEB登録及び書類郵送※レターパック等追跡サービスのあるものにすべての書類を入れてください。不足の場合はいかなる理由でも受理しません。 | ― | ※レターパック等、A4サイズの封筒1通にすべての書類を入れてください。書類の不足があった場合は、いかなる理由であれ受理しません。お送りいただいた書類は返却いたしません。<br>※ 書類到着に関する問い合わせには対応いたしかねます。到着確認は、レターパック等の追跡サービスをご利用ください。 |
| 50 | 山形県産業労働部<br>(やまがた若者定着枠)<br>(Yamagata Pref.) | 募集要項の応募資格をご確認ください。<br>https://www.pref.yamagata.jp/documents/3243/r8yamagatawakamonoteicyaku.pdf | 個人応募 | 全国:230名 | 返還支援 | 2万6千円×令和8年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数(上限あり) | https://www.pref.yamagata.jp/110001/bunkyo/wakamonoseishounen/wakamono/syogakukin/syogakukinhenkansien.html | 令和8年5月18日(月)～令和8年6月30日(火)<br>17時(必着)まで | 持参または郵送または電子申請 | - | |
| | 山形県産業労働部<br>(企業連携支援枠)<br>(Yamagata Pref.) | 募集要項の応募資格をご確認ください。<br>https://www.pref.yamagata.jp/documents/3245/r0kigyourenkeishien.pdf | | 全国:50名 | | 2万6千円×令和8年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数+10万円(上限あり) | | 【1次締切】<br>令和8年7月30日(火)<br>17時必着<br>※募集枠に余裕があった場合のみ2次～4次募集あり | | - | |
| 49 | 公益財団法人<br>富山文化財団 | (1)「楽しく豊かな遊び文化」「子どもの遊育と健やかな成長」「日本のものづくり」のいづれかに関わる夢を持って学業に取り組んでいること。<br>(2)2026年4月時点で関東地方(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)の大学院、4年制大学ならびに各専攻科に在学し、かつ同地方またはその隣接地域に在住している方。<br>(3)当財団の奨学生として以下の義務を履行できること。<br>・奨学生のための活動に参加し、学生間の交流による意識高揚に努めること。<br>・各種連絡への応答や指定された書類や課題の提出を遅滞なく行うこと。<br>・異動等の重要な事象が発生した場合には直ちに報告を行うこと。<br>《2026年度の活動》<br>・課題提出3回(自己紹介動画、A4用紙1枚程度のレポートなど)<br>・認定証授与式・交流会への参加(必須)※11月15日(日)開催予定<br>(4)学業優秀、品行方正であり、かつ経済的な支援を必要とすること。 | 個人応募 | 34名程度 | 給付 | 年額36万円 | https://www.tomiyama-cf.or.jp/information | 2026/7/16(木)<br>AM10:00まで<br>(2026/6/9(火)<br>AM10:00応募開始) | WEBフォーム応募 | - | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 48 | 東京都北区奨学金返済支援給付事業<br>（令和8年度） | 1）令和6年度中(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)に大学等を卒業・修了した者。<br>(2)日本学生支援機構の第一種学資貸与金の貸与を受けた者。<br>(3)補助対象奨学金を自ら遅滞なく返済し、かつ滞納している返済未済額がない者。<br>(4)令和8年1月1日に北区に住民登録をしている者。<br>(5)申請にあたって必要となる添付書類を区が指定する期日までに提出できる者。<br>(6)住民税の滞納がない者。<br>(7)暴力団員や暴力団関係者でない者。 | 個人応募 | 最大100名 | 給付 | 5年間の定住で最大100万円（前年度の返済相当額を給付（上限あり）） | https://www.city.kita.lg.jp/children-edu/education/1008137/1020570.html | 2026/7/31（金） | WEBエントリー及び郵送 | - | |
| 47 | 公益財団法人　平石教育財団 | (1)2026年4月1日に日本国内の4年制大学に在籍する大学1年生（※）<br>(2)経済的な支援を必要とする者<br>(3)世帯所得が300万円以下である者（年収目安約430万円）<br>※4年制大学の学部・学科生に限り、通信教育課程及び夜間学部生、並びに外国人留学生を除くものとします。<br>※独立行政法人日本学生支援機構を含む他の貸与型・給付型奨学金のほか、国が実施する 高等教育の修学支援新制度との併用を認めています。相手先が併用可能かはご自身にてご確認ください。<br>※ Only for the Japanese students. | 個人応募 | 全国：10名 | 給付 | 年額36万円 | https://hiraishi-foundation.org/ | 2026/6/12（金） | 郵送・必着 | - | |
| 46 | 公益財団法人　重田教育財団<br>(Shigeta Education Foundation)<br>＜日本人留学生奨学金＞ | 以下の(1)～(5)のすべてに該当する者。<br>(1) 日本国籍を有する者<br>(2) 海外の大学又は大学院への入学が決定している者<br>(3) 経済的な理由により留学費用の支弁が困難であること<br>(4) 学業優秀且つ品行方正であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※但し、学位取得を目的とする 2 学年以上の正規留学を対象とし、語学留学・短期留学等は対象外とします<br>※ Only for the Japanese students. | 個人応募 | 全国：5名 | 給付 | 年額 22,000 ドル※ | https://s-ef.or.jp/scholarship/ | 2026/6/30（火） | WEB提出及び郵送・必着 | - | ※年額を 2 回に分け、9 月・3 月の一定日に給付します<br>※ドル建てで送金します。ドルでの受け取りを希望される場合は、ドル建てで受け取り可能な口座をご用意下さい。<br>・給付期間<br>2 年間 ※2026 年 9 月より給付を開始します |
| 45 | 一般財団法人<br>あしなが育英会<br>（大学院生）<br>（Ashinaga foundation） | 次の(1)～(5)すべてに該当する方。<br>(1) 本会の大学奨学生または専修・各種学校奨学生であった方。<br>(2) 2026年度に大学院の各種課程に入学した方。<br>(3) 1998年（平成10年）4月2日以降に生まれた方。<br>(4) 大学院において研究を継続するために、奨学金の交付を受ける必要があると認められる方。<br>(5) 大学院の研究科の指導（担任）教官から推薦を受けた方。<br>※本会の高校奨学金のみ利用していた方で申請を希望する場合は、本会までご相談ください<br>※日本国外の大学院（その日本校を含む）は対象になりません。 | 個人応募 | 40人程度 | 貸与 | 貸与月額<br>80,000円 | https://www.ashinaga.org/ja/documents/Daigakuin_Zaigaku_Shiori.pdf | 2026/5/20（水）<br>（当日消印有効） | オンライン手続き及び<br>証明書類の郵送<br>（当日消印有効） | - | 奨学生に採用後申請ができるあしながMUFG奨学基金<br>理系大学院生支援金<br>給付月額 40,000円を申請することができます<br>（くわしくは募集のしおり 14ページを参照） |
| 44 | 一般財団法人<br>あしなが育英会<br>（大学生）<br>（Ashinaga foundation） | 大学または短期大学に在学していて、次にあてはまる学生。<br>保護者（父または母など）が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで<br>死亡または保護者が１級から5級の障がい認定（注 1）を受けていて、経済的な援助を必要と<br>している家庭の子ども。<br>（注 1）次の障がい認定を受けている場合をいいます。<br>身体障害者福祉法、国民年金法、厚生年金保険法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、<br>労働者災害補償保険法に定める第１級から第5級<br>※日本国外の大学（その日本校を含む）は対象になりません。<br>※2001年（平成13年）4月2日以降に生まれた方が対象です。 | 個人応募 | 200人程度 | 貸与 | (1)一般 ＝貸与月額<br>40,000円<br>(2)特別 ＝貸与月額<br>50,000円 | https://www.ashinaga.org/ja/documents/Daigaku_Zaigaku_Shiori.pdf | 2026/5/20（水）<br>（当日消印有効） | オンライン手続き及び<br>証明書類の郵送<br>（当日消印有効） | - | 奨学生に採用後申請ができるあしながMUFG奨学基金<br>理系支援制度<br>給付月額 40,000円を申請することができます<br>（くわしくは募集のしおり 14ページを参照） |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 43 | 公益財団法人<br>交通遺児育英会<br>（大学院学生） | 保護者が道路における交通事故で死亡した家庭の生徒・学生<br>または、保護者が道路における交通事故で重度の後遺障害者となった家庭の生徒・学生<br>重度の後遺障害の程度（いずれか一つに該当）<br>①身体障害者福祉法（身体障害者手帳）の第1級から第4級<br>②自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び第2の第1級から第7級<br>③精神保健および精神障害者福祉法（精神障害者保健福祉手帳）の第1級から第3級<br>上記のいずれかに該当のうち、日本国籍を有する者、または、永住者（外国籍の留学生は対象外です） | 個人応募 | 20人 | 貸与 | 奨学金月額5・8・10万円から選択（うち2万円は給付） | https://www.kotsuiji.com/info-scholarship | 2026/10/31（土）在学募集 | 郵送・必着 | - | |
| 42 | 公益財団法人<br>交通遺児育英会<br>（学部学生） | 保護者が道路における交通事故で死亡した家庭の生徒・学生<br>または、保護者が道路における交通事故で重度の後遺障害者となった家庭の生徒・学生<br>重度の後遺障害の程度（いずれか一つに該当）<br>①身体障害者福祉法（身体障害者手帳）の第1級から第4級<br>②自動車損害賠償保障法施行令別表第1及び第2の第1級から第7級<br>③精神保健および精神障害者福祉法（精神障害者保健福祉手帳）の第1級から第3級<br>上記のいずれかに該当のうち、日本国籍を有する者、または、永住者（外国籍の留学生は対象外です） | 個人応募 | 300人<br>（奨学金）<br>200人<br>（入学一時金） | 貸与 | 奨学金月額4・5・6万円から選択（うち2万円は給付）入学一時金（1年生）40・60・80万円から選択 | https://www.kotsuiji.com/info-scholarship | 2026/10/31（土）在学募集 | 郵送・必着 | - | |
| 41 | 公益財団法人<br>原・フルタイムシステム<br>科学技術振興財団 | (1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学・大学院の工学系学部又は工学系研究科に学ぶ者であること<br>(3) 新たに学部3年生又は修士課程1年生又は博士課程1年生となる者であること<br>(4) 募集年度4月1日時点で年齢30才以下であること<br>(5) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(6) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>（2ヶ月に一度、定められた期限までに報告書を提出すること）<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 15名程度 | 給付 | 月額4万円<br>（年額48万円） | https://hara-kagaku.org/scholarship.html | 2026/6/10（水）当日消印有効 | 郵送・<br>当日消印有効 | - | ※他の奨学金制度への併願又は既に利用している場合も給付対象とします。 |
| 40 | 公益財団法人<br>山村章奨学財団 | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の工学系学部※に在籍する学部 3 年生であること<br>(3) 募集年度 4 月 1 日時点で年齢 25 才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※ 下記の文部科学省 HP 内の「学科系統分類表1大学(学部)工学」欄にある学科を工学系学部と定義する。<br>https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/001/05122201/006/004/004.htm<br>＜応募の目安※＞<br>学業成績：GPA（Grade Point Average）が3.0以上であること<br>家計状況：収入・所得が応募要領に記載の金額以下であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名 | 給付 | 年額48万円 | http://yamamura-scholarship.org/scholar.html | 2026/5/31(日)必着 | 郵送・必着 | - | |
| 39 | 公益財団法人<br>バロック村井博之財団<br>(Baroque Murai Hiroyuki Foundation) | ・日本国内に居住する者で、日本国内の大学に在学する日本人学生及び外国人留学生。<br>・他の給付型奨学金を受給していない者。<br>（ただし、本人の応募によらず、過去の実績等に基づき所属学校から支給される報奨金や奨学金は除きます。）<br>・本財団が企画する行事（交流会等）への参加に協力することが出来る者。<br>＊世帯所得は書類選考の判定に使用しますが、世帯所得による応募制限はありません。<br>※International students can also apply. | 個人応募 | 30名程度 | 給付 | 年額40万円 | https://baroque-murai.or.jp/scholar/ | 2026/5/15（金）<br>（当日消印有効） | 郵送・<br>当日消印有効 | - | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 38 | 一般財団法人<br>日本知財人材育成財団正林真之記念奨学金 | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の理工系学部に在籍する学部 3 年生であること<br>(3) 応募締切日時点で年齢 25 才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例：情報理工学部、創造工学部、<br>理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻）<br>＜応募の目安※＞<br>学業成績：GPA（Grade Point Average）が3.0以上であること<br>家計状況：収入・所得が応募要領に記載の金額以下であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名 | 給付 | 年額48万円 | https://chizai.org/scholarship/ | 2026/5/31(日)必着 | 郵送・必着 | - | |
| 37 | 一般財団法人木原財団<br>(KIHARA Foundation) | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部 3 年生であること<br>(3) 応募締切日時点で年齢 25 才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの<br>（例：情報理工学部、創造工学部、理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻）<br>＜応募の目安※＞<br>・学業成績：GPA（Grade Point Average）が 3.0 以上であること<br>・家計状況：収入・所得が応募要領に記載の金額以下であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名 | 給付 | 年額48万円 | https://kihara-foundation.org/ | 2026/5/31(日)必着 | 郵送・必着 | - | |
| 36 | 一般財団法人<br>田中孝典記念教育財団 | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部3 年生であること<br>(3) 応募締切日時点で年齢25 才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例：情報理工学部、創造工学部、<br>理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻）<br>＜応募の目安※＞<br>・学業成績：GPA（Grade Point Average）が3.0 以上であること<br>・家計状況：収入・所得が応募要領に記載の金額以下であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名 | 給付 | 年額48万円 | https://www.tanakatakanori-zaidan.org/scholarship.html | 2026/5/31(日)必着 | 郵送・必着 | — | |
| 35 | 一般財団法人<br>黒木育英奨学金<br>KUROKI FOUNDATION | 以下の(1)～(6)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 両親または片親がいない世帯に属していること<br>(3) 国内の大学に在籍する学部3年生であること<br>(4) 応募締切日時点で年齢25才以下であること<br>(5) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(6) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>＜応募の目安※＞<br>・学業成績：GPA（Grade Point Average）が3.0以上であること<br>・家計状況：収入・所得が募集要項に記載の金額以下であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名 | 給付 | 年額48万円 | https://kuroki-foundation.org/shogakukin/ | 2026/5/31(日)必着 | 郵送・必着 | - | |
| 34 | 一般財団法人<br>谷育英財団 | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部3年生であること<br>(3) 応募締切日時点で年齢25才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例：情報工学部、創造工学部、理工学群、応用理工学類、応用物理主専攻）<br>＜応募の目安※＞<br>学業成績：GPA（Grade Point Average）が3.0以上であることが目安となります。<br>家計状況：収入・所得が下記表に記載の金額以下であることが目安となります。<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名 | 給付 | 年額48万円 | https://tani-edu-foundation.org/scholarship/ | 2026/5/31(日)必着 | 郵送・必着 | - | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 33 | 公益財団法人<br>古宮誠一記念教育財団 | 下の(1)~(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の理工系学部に在籍する学部3年生であること<br>(3) 応募締切日時点で年齢25才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例:情報理工学部、創造工学部、<br>理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻）<br>＜応募の目安※＞<br>・学業成績：GPA（Grade Point Average）が 3.0 以上であること<br>・家計状況：収入・所得が募集要項に記載の金額以下であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名 | 給付 | 年額48万円 | https://komiya-zaidan.org/#/scholarship page | 2026/5/31(日)必着 | 郵送・必着 | - | |
| 32 | 一般財団法人<br>丹下大未来創造育英財団 | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の理工系学部※に在籍する学部 3 年生であること<br>(3) 応募締切日時点で年齢 25 才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの（例：情報理工学部、創造工学部、<br>理工学群 応用理工学類 応用物理主専攻）<br>＜応募の目安※＞<br>・学業成績：GPA（Grade Point Average）が 3.0 以上であること<br>・家計状況：収入・所得が下表に記載の金額以下であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名程度 | 給付 | 年額48万円 | https://tange-foundation.org/ | 2026/5/31(日）必着<br>（2026/4/1（水）応募開始） | 郵送 | - | ・他の奨学金との併給可能です。ただし、他の奨学金は併給を認めていない可能性があります。 |
| 31 | 公益財団法人<br>寿財団 | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 首都圏に所在する大学の 3 年生であること<br>(3) 募集年度 4 月 1 日時点で年齢 25 才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※(2) の首都圏とは「東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県」をさします<br>※(2) は 4 年制学部の春季入学者に限ります<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 10名程度 | 給付 | 月額4万円<br>（年額48万円） | https://kotobukizaidan.org/scholarship/ | 2026/5/29(金）必着<br>（2026/4/1（水）応募開始） | 郵送 | - | ・他の奨学金との併給可能です。ただし、他の奨学金は併給を認めていない可能性があります。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 30 | 2026年度<br>公益財団法人<br>オークラ育英財団 | この奨学金の応募資格は、次の各号に該当する者とします。<br><br>・出願する年の4月1日現在、日本国内の4年制学部に在学する大学生（2年生以上）で、原則として年齢が30歳以下であること<br>・日本国籍を有すること<br>・学業、人物ともに優秀であり、健康であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 20名程度 | 給付 | 月額3万円 | https://okura-ikueizaidan.com/ | 2026/4/30(木)必着<br>(2026/4/1(水)応募開始) | 当財団ホームページの応募フォームから応募 | - | ・他の奨学金との併給可能です。ただし、他の奨学金は併給を認めていない可能性があります。<br>・ご本人からの応募をお願いします。代理申請不可。<br>・応募者多数の場合、主たる生計維持者の年間の給与収入が550 万円未満(給与所得以外の場合には、年間の所得が200万円未満)で、GPAが3.0点以上の者を審査対象とします。 |
| 29 | 2026年度<br>一般財団法人<br>国分記念財団 | 下記要件すべてに該当する方<br>1. 応募期間の属する年度（2026年度）において新2年生に進学する方<br>2. 応募期間直前の3月31日時点において25歳未満である方<br>3. 大学での学業成績が、本財団の定める計算式（標準化GPA計算書）によるGPAで3.0以上である方<br>4. 持続可能な豊かな食の未来の実現に関心を持ち、学業優秀かつ学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を目指す方 | 個人応募 | 10名程度 | 給付 | 月額5万円<br>（年額60万円） | https://www.kokubu.co.jp/zaidan/ | 2026/5/31(日)必着<br>(2026/4/1(水)応募開始) | ガクシー<br>(https://gaxi.jp/)<br>の当財団ウェブページより応募して下さい。 | - | 2026年4月から正規の最短修業年限の終期まで（原則3年間）。※大学院（修士課程）への進学希望者は、継続審査を経て延長可能。 |
| 28 | 2026年度<br>公益財団法人<br>オークネット財団 | 以下の(1)～(5)のすべてに該当すること。<br>(1) 日本国籍を有すること<br>(2) 国内の大学の経済系学部※1及び情報系学部※2に在籍する学部 3 年生であること<br>(3) 応募締切日時点で年齢 25 才以下であること<br>(4) 経済的な理由により学費の支弁が困難であること<br>(5) 就学状況及び生活状況について適時報告できること<br>※1 経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの（例：政治経済学部経済学科、社会・国際学群社会学類経済学主専攻、理工学部経営工学科）<br>※2 情報学部、情報科学部及び工学部情報工学科並びにこれらに類するもの（例：情報学群、データサイエンス学部、情報融合学環）<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 20名 | 給付 | 年額48万円 | https://aucnet-foundation.org/scholarship/ | 2026/5/31(日)必着<br>(2026/4/1(水)応募開始) | 郵送 | - | ・奨学生の進路等についてこの法人は関与いたしません。<br>・他の奨学金を受けている場合でも応募いただけます。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 27 | 2026年度大学院生<br>公益財団法人<br>朝鮮奨学会 | ①日本の大学院(博士課程・修士課程・専門職課程。通信課程は除く)に在籍している韓国人・朝鮮人学生(特別永住者証明書・在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮)。本国からの留学生を含む。<br>②成績が優良で学費の支弁が困難な者。<br>③2026 年4月1日現在、満 40 歳未満の者(継続応募者は除く)。<br>④法科大学院の未修コース、その他3年制修士課程においては2学年以上の者。<br>⑤日本学術振興会の特別研究員及び次世代研究者挑戦的研究プログラムの受給者は応募できない。<br>【2025 年度本会の大学(学部)奨学生であった場合】<br>・進学して修士・専門職1年生になった者は新規生として応募できる。<br>【2025 年度本会の大学院奨学生であった場合】<br>・同じ課程(博士・修士・専門職)で学年が進級した者は継続生として応募できる。<br>・修士・専門職課程から進学して博士1年生になった者は新規生として応募できる。<br>・5年一貫博士課程の2学年から3学年に進級した者は新規生として応募できる。<br>・2025 年度に採用されたのち途中辞退した場合は、新規生として応募できる。<br>【2025 年度本会の奨学生でなかった場合】<br>・新規生として応募できる(過去に本会奨学生であって 2025 年度本会奨学生でなかった場合を含む)。 | 個人応募 | - | 給付 | 修士課程:<br>月額40,000円<br><br>博士課程:<br>月額70,000円 | https://www.korean-s-f.or.jp/scholarship/university | (新規)2026/4/10(金)10:00<br>～2026/5/11(月)17:00まで<br><br>(継続)2026/4/6(月)10:00～<br>2026/4/27(月)17:00まで | 本会HPからインターネット受付専用ページにアクセスして申請 | - | 応募資格の留意事項<br>・休学している者は応募できない。<br>・研究生、別科生、専攻生、聴講生は応募できない。<br>・大学院において各課程の最短履修年限を超えて在籍している者は応募できない。<br>・新規に応募する韓国人留学生(前年度奨学生ではない)は個人で直接応募できない。<br>「5.応募書類と手続き」の「※2 留学生」を参照すること。<br>・本国からの留学生で、交換留学生として在学している者は応募できない。 |
| 26 | 2026年度学部生<br>公益財団法人<br>朝鮮奨学会 | ①日本の大学の学部(学士課程、専門職大学、短期大学も含む。通信課程は除く)に在籍している韓国人・朝鮮人学生(特別永住者証明書・在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮)。本国からの留学生を含む。<br>②成績が優良で学費の支弁が困難な者。<br>③2026 年4月1日現在、満 30 歳未満の者(継続応募者は除く)。<br>【成績について】<br>・学部1年生の学業成績は、高校3年次の成績評価値が5段階で原則 3.2 以上であること。<br>・学部2年生以上の学業成績は、修得総科目の成績評価値が原則 2.7 以上であること。<br>※本会評価値で算出(GPA 評価ではありません)<br>【2025 年度本会の大学(学部)奨学生であった場合】<br>・学部在学中で学年が進級した者は継続生として応募できる。<br>・短期大学卒業後、4年制大学の3年生以上に編入した者は新規生として応募できる。<br>・2025 年度に採用されたのち途中辞退した場合は新規生として応募できる。<br>・留年した者、学部を卒業して学士編入した者は応募できない。<br>【2025 年度本会の大学(学部)奨学生でなかった場合】<br>・新規生として応募できる(過去に本会奨学生であって 2025 年度本会奨学生でなかった場合を含む)。2025 年度本会の高校奨学生だった者も新規生として応募できる。<br>・高等専門学校(高専)の専攻科に進学した者は、新規生として応募できる。 | 個人応募 | - | 給付 | 月額25,000円 | https://www.korean-s-f.or.jp/scholarship/university | (新規)2026/4/10(金)10:00<br>～2026/5/11(月)17:00まで<br><br>(継続)2026/4/6(月)10:00～<br>2026/4/27(月)17:00まで | 本会HPからインターネット受付専用ページにアクセスして申請 | - | 応募資格の留意事項<br>・休学している者は応募できない。<br>・研究生、別科生、専攻生、聴講生は応募できない。<br>・新規に応募する韓国人留学生(前年度奨学生ではない)は個人で直接応募できない。<br>「5.応募書類と手続き」の「※2 留学生」を参照すること。<br>・本国からの留学生で、交換留学生として在学している者は応募できない。 |
| 25 | 2026年度<br>在日本朝鮮人教育会 | 1. 日本全国各大学(短期大学も含む)の学部、または専門学校に在籍する在日朝鮮人学生で<奨学制度の目的>に賛同する 30 歳未満の者。(国籍不問)<br>2. 成績が優良で、かつ学費の支弁が困難な者。<br>3. 本教育会の指定行事に積極的に参加する意思のある者。<br>※ 大学院生、本国からの留学生の募集は行わない。<br>※ 日本学生支援機構を除く他の給付制の奨学金との併給は不可。但し応募は可能。 | 個人応募 | - | 給付 | 大学2年生以上:<br>年額20万円<br><br>大学1年生:<br>年額16万円 | http://kyoikukai.net/syogakukin.html | 2026/5/31(日)<br>(郵送)当日消印有効<br>(ネット申請)23:59まで<br>(2026/4/1(水)募集開始) | ネット申請及び郵送 | - | 給付方法:年3回給付式に出席し受給<br><br>その他募集要項を熟読のこと |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24 | 2026年度<br>公益財団法人<br>エイブル文化振興財団 | 大学01コース：学業優秀な者<br>大学02コース：本人と父母および配偶者の住民税所得割が非課税の学生で学業優秀な者<br>＜共通資格＞<br>・学業優秀、品行方正であり、かつ経済的な支援を必要とすること<br>・将来、グローバルに活躍する夢を持つ大学学部生であること<br>・2026年4月時点で在学し、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府の大学キャンパスに通学している者（通信制大学は、本人の住民票が東京都、神奈川県、愛知県、大阪府にある者）<br>・支給期間中、当財団が定めるレポート等を期日までに提出できる者<br>・支給期間中、当財団の行事に積極的に参加できる者<br>・他の奨学金との併給可 | 個人応募 | 全国：30名程度<br>（大学01コース20名程度、<br>大学02コース<br>10名程度） | 給付 | 大学01コース：<br>ひとり年間60万円<br>大学02コース：<br>ひとり年間40万円 | https://www.ablefoundation.or.jp/requirements/ | ①応募フォーム入力<br>（受付番号取得）<br>2026年4月1日 11:00<br>～5月1日 17:00<br><br>②財団締切：<br>2026年5月8日必着 | WEB登録及び郵送 | - | ※学長名での推薦書等を必要とする奨学金については、送付予定日の10営業日前までに応募書類すべてのコピーに推薦書等を添付して奨学係へお持ちいただくかメールで送付ください。推薦書等のみの申請は受付られません。推薦書等発行手続きには数日かかります。 |
| 23 | 公益財団法人<br>マブチ国際育英財団 | ・経済的に困窮し就学困難な者（世帯収入600万円未満）<br>・2026年4月に大学の正規学部に通う1,2年生<br>・大学2年生については、直近の成績が以下の基準を満たす者<br>GPA採用大学　：2.5以上<br>GPA非採用大学：次のGPで科目平均3.5以上<br>・素点90点以上　（秀,S等）：5<br>・素点80－89点（優,A等）：5<br>・素点70－79点（良,B等）：3<br>・素点60－69点（可,C等）：1<br>・在籍大学の推薦を受けられる者<br>・弊財団の奨学金支給時に、他の給付型奨学金を支給されていない者。ただし、次の奨学金については、月額5万円までは併給を認め5万円を超過した金額を弊財団の奨学金より減額します。<br>・文部科学省の高等教育の修学支援新制度（授業料等減免は併給調整の対象となりません）<br>・地方自治体による給付型奨学金のうち併給を認めているもの<br>・大学による給付型奨学金等のうち併給を認めているもの<br>入学金および授業料等の減免（名称に関わらず実質的に減免と判断されるものも含む）は併給調整の対象となりません。 | 個人応募 | 15人程度 | 給付 | 入学一時金<br>300,000円<br>（2026年4月入学者）<br><br>奨学金月額<br>100,000円 | https://isfw.mabuchi.or.jp/scholarship | 【一次選考】<br>2026年3月2日（月）<br>～4月12日（日）<br><br>【二次選考】<br>2026年4月17日（金）<br>～5月7日（木）必着<br><br>【最終面接】<br>2026年5月20日（水）<br>～5月21日（木）<br><br>【認定式】<br>2026年6月6日（土） | 【一次選考】<br>WEB登録<br><br>【二次選考】<br>郵送 | – | ・応募～認定の流れ<br>・奨学生の心得<br>・奨学生の順守事項<br><br>上記をよくお読みください。 |
| v | 公益財団法人<br>似鳥国際奨学財団 | 2026年4月時点で以下の①～⑤のすべての項目を満たす者<br>① 日本国内の大学・大学院に在籍する日本国籍の方、または在留資格が『永住者』『定住者』の方<br>②【学部生】学部課程（4年制・6年制、全日制）の正規生【修士生】修士課程（2年制、全日制）の正規生、区分制博士前期課程（2年制、全日制）の正規生<br>③【学部生】23歳以下【修士生】25歳以下<br>④成績目安としてGPA2.5以上（4.0満点、入学※～2026年3月）　※修士生は大学院入学<br>※2026年4月大学院入学の場合、成績期間は大学入学～卒業<br>※2026年4月大学入学の場合、高校3年生（学年末）の成績が評定平均3.5以上（5段階評価）<br>⑤世帯収入目安として900万円以下（2025年1月～12月）<br><br>在学状況が該当しない場合は対象外、学部学科不問<br>※補足<br>対象外の主な例：通信制課程、夜間課程、正規生以外（科目履修生、研究生等）など | 個人応募 | 350名程度（新規採用・継続採用合わせて）　※うち＜IT人材奨学生＞は最大60名 | 給付 | 月額5～8万円（一部は住宅補助費として支給）<br>※＜IT人材奨学生＞として採用の場合は月額8万円（理工系・情報系分野を学ぶ学生から選出）<br>※選考時の家計状況等により支給金額を決定、採用時に通知 | https://www.nitori-shougakuzaidan.com/wp-content/themes/shougakuzidan/pdf/application/2026-japanese.pdf | 【募集期間】<br>2026年1月20日（火）～2026年4月20日（月）<br><br>【一次選考】<br>WEB願書、WEBテスト 2026年3月下旬～<br>2026年4月20日（月）<br><br>【二次選考】<br>書類審査、オンライン面接<br>2026年4月下旬～<br>2026年5月中旬（予定） | WEB登録 | – | 以下の（a）～（e）のすべての項目を満たす者に奨学金を支給<br>（a）他の給付型奨学金（JASSO含む）を当財団の支給期間と重複して受給していない<br>（b）日本国内に居住している<br>（c）レポート提出（2ヶ月に1回、400字程度、当財団が指定する期限までに提出）<br>（d）交流会参加（年1回、9～11月頃開催予定）<br>（e）アルバイト確認（3ヶ月に1回、月20時間以上または3ヶ月合計60時間以上を目安）<br>⑩支給条件 ◆他の給付型奨学金との重複受給について<br>補足 重複受給に該当しない奨学金<br>●貸与型奨学金<br>●授業料免除・減額<br>●一時奨励金（一括払）<br>応募時：受給状況不問　入団時：他の給付型奨学金の停止（辞退・返金）手続が必要 |
| 21 | 公益信託<br>池田育英会トラスト | 愛媛県内の高等学校を卒業している方、または保護者（奨学生が成人の場合は、保護者であった方）が愛媛県内に居住している方で、4年制以上の大学または大学院に在学するつぎの要件を満たす方。専攻の分野は問いません。他の奨学金と併せて給付を受けることができます。<br>（a）4年制以上の大学に在学する方<br>　　2年生以上（新入生は対象外）<br>（b）大学院に在学する方<br>　　学年は問いません<br>（c）学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方 | 個人応募 | 5名予定 | 給付 | 給付月額：17,000円 | https://www.iyobank.co.jp/about/csr/kouken/education/trust/ | 2026/5/8(金）必着<br>（2026/3/16（月）応募開始） | 郵送 | – | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 | 2026 年度<br>公益財団法人<br>オークラ育英財団 | この奨学金の応募資格は、次の各号に該当する者とします。<br>(1) 2026年 4 月 1 日現在、日本国内の 4 年制学部に在学する大学生2年生以上で、原則として年齢が 30 歳以下であること<br>(2) 日本国籍を有すること<br>(3) 学業、人物ともに優秀であり、健康であること<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 20名程度 | 給付 | 給付月額：30,000円 | https://okura-ikueizaidan.com/guidelines/ | 2026/4/30(木)必着 | 郵送 | – | 修正ありNo.30へ異動 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 19 | 2026年度<br>一般財団法人<br>鷹野学術振興財団 | 次の(1)～(4)（日本国籍を有しない方は(1)～(5)）の各項すべてを満たす方<br>(1) 国内の大学の大学生ならびに大学院生で「科学技術関係」を専攻している学生<br>【「科学技術関係」の範囲】<br>電気電子工学、光学関連、画像処理関連、機械工学、物理学、情報工学、材料工学、化学関連、<br>医療機器関連、健康・福祉関連、環境・エネルギー関連、農学・機能性食品等<br>(2) 2026年4月1日現在、大学の1年～3年（6年制学部の場合は1年～5年、短大の場合は1年）に在籍していること、もしくは、大学院修士課程の1年次に在籍していること<br>(3) 卒業後は「製造業への就職を希望」していること<br>(4) 過去に当財団の奨学生に採用されたことがないこと<br>(5) 外国人(日本国籍を有していない方)の場合は、日本語の会話・読み書きに習熟していること | 個人応募 | 若干名 | 給付 | 給付月額：50,000円<br>（年額：60万円） | https://www.takano-zaidan.com/%E5%A5%A8%E5%AD%A6%E9%87%91%E6%83%85%E5%A0%B1/2026%E5%B9%B4%E5%A5%A8%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%8B%9F%E9%9B%86%E8%A6%81%E9%A0%85-%E6%A7%98%E5%BC%8F%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89/ | 2026/5/15(金)必着<br>(2026/4/1(水)募集開始) | 郵送 | － | |
| 18 | 2026年度<br>公益財団法人<br>常磐奨学会 | 2026 年 4 月 1 日現在在学中か、2026 年 4 月より入学見込の大学生で、次のいずれかに該当する方です。<br>① 福島県いわき市・茨城県北茨城市及びその周辺地域居住者の子弟<br>② 福島県内および茨城県内の学校に在学する者 | 個人応募 | 給付5名程度<br>貸与8名程度 | 給付・貸与 | 給付月額：20,000円<br>貸与月額：35,000円 | http://www.joban-syougakukai.or.jp/application.html | 2026/4/24(金)必着 | 郵送 | － | |
| 17 | 2026年度<br>一般財団法人<br>飯嶋アイング財団 | 当財団の奨学生となる者は国内の以下の特定の分野に修学する四年制大学生、大学院生及び高等専門学校生であり、次のいずれにも該当しなければなりません。<br>① 日本国籍を有し、学資の援助をすることが必要であると認められる者<br>② 将来社会的に有益な活動を目指す者<br>③ 学業成績が優秀であること（下記のいずれかに該当すること）<br>ア．在校生の場合、学校入学時から直近までの学業成績において、GPA（平均成績）が2．4以上<br>イ．四年制大学の1年生であり、在籍校の成績証明書の取得ができない場合は、高等学校等における評定平均が3．5以上<br>ウ．高等専門学校の1年生であり、在籍校の成績証明書の取得ができない場合は、中学校3年生時の成績に基づく5教科（国語・数学・英語・理科・社会）の評定より算出した代替指標の数値が3．0以上<br>エ．高等学校卒業程度認定試験の合格者であること<br>④ 給付期間すべてに、修学している学校に在籍していること（休学は対象外）<br>⑤ 下記のいずれかの分野に関連する科目を履修できる学科に在籍していること<br>＜主な科目＞経済学部系、経営学部／商学部系、法学部系、環境科学系、生命科学系、建築系、環境工学系、設備工学系、<br>衛生工学系、宇宙工学系、医学部系 | 個人応募 | 33名上限 | 給付 | 給付額：<br>年額36万円<br>（返還義務はありません） | https://iijima-iing.or.jp/requirements/ | 2026/3/31(火)必着 | WEB応募・郵送 | － | ※その他、応募要領をよくお読みください。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 16 | 公益財団法人吉田育英会<br>（ドクター21） | 次に掲げる要件をすべて満たす方とします。<br>・日本国籍を有する方。<br>・2026年４月１日現在において、30歳未満である方。<br>・2026年４月１日現在において、大学院修士課程(博士前期課程を含む。)または一貫制博士課程の２年次に在学中の方。<br>・2026年秋季または2027年春季に大学院博士後期課程(標準修業年限が３年で、修了者に博士の学位が授与される課程)に入学を希望する方、または一貫制博士課程の３年次に進学もしくは編入学を希望する方。<br>・進学先において日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する方。<br><br>なお、以下の点にご留意ください。<br>・進学先大学院は、在学中の大学院と異なっても構いません。また、国公立、私立の別を問いません。<br>・家計基準（世帯の家計支持者ならびに本人及び配偶者の収入による応募制限等）はありません。<br>・他団体奨学金との併給の可否については募集要項3ページをご覧ください。<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 5名程度（2026年秋季及び2027春季採用合計） | 給付 | ・奨学期間を通じて月額20万円<br>・奨学生が大学に納付する学費について、「学校納付金」として奨学期間内に合計250万円以内の実費<br>・奨学生の海外での研究活動に関する費用について、「海外研究活動支援」として奨学期間内に合計100万円以内の実費<br>「学校納付金」には、入学金、授業料、施設費、実験研究費等の名目で大学に対して半期または1年毎に納付する費用を含みます。また、学校納付金の枠内で、奨学生が日本国内で開催される学会に参加し、発表を行う場合の学会参加費の支給（給与期間中に合計40万円まで）を受けることができます。<br>「海外研究活動支援」は、奨学生が将来国際舞台で活躍することを期待して、在学中の海外での研究活動を支援するために設けられた項目です。支援の対象は、海外で開催される国際学会への参加、海外の大学への短期留学、海外で実施される研修への参加、及びその他当会が認める活動で、交通費、宿泊費、学会参加登録費等の費用を補助します。 | https://www.ysf.or.jp/ysfpdf/sch2026_guideline02.pdf | 2026/4/10（金）必着 | 郵送 | - | ※担当指導教官の推薦が必要です。 提出様式は吉田育英会 HPのダウンロードから取得してください。募集要項をよくお読みください。 |
| 15 | 公益財団法人吉田育英会<br>（カーターセンターインターンシップ） | 次に掲げる要件をすべて満たす方とします。<br>・日本国籍を有する方。<br>・学士以上の学位を取得している方、または奨学期間開始までに取得見込みの方。<br>・大学もしくは大学院に在学中の方、またはインターンシップ開始時において卒業後２年以内である方。<br>・カーターセンターの活動分野に関する経験や学術的バックグラウンドのある方。アフリカ研究、人類学、法学、政治学、経済学、経営管理学、社会学、国際関係学、寄生虫学、公衆衛生学等。<br>・カーターセンターで支障なく調査研究を行う優れた英語力のある方。TOEFL iBT100点もしくはIELTS7.0以上が望ましい。<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 1名 | 給付 | ・生活滞在費として、奨学期間を通じて月額2,500米ドル<br>・留学先までの往復に要する交通費として、エコノミークラスの航空券代金の実費<br>※2021-2022年度から、カーターセンターはインターンに報酬を支払うようになりましたが、当会のインターンシップ奨学生は、カーターセンターからのインターン報酬ではなく、上記の当会奨学金が支給されます。また、週の労働時間も異なりますので、当会奨学生の現地での呼称は「YKKフェロー」となります。 | https://www.ysf.or.jp/ysfpdf/sch2026_guideline03.pdf | 2026年4月22日（水）必着 | 郵送 | - | ※担当指導教官の推薦が必要です。 提出様式は吉田育英会 HPのダウンロードから取得してください。募集要項をよくお読みください。 |
| 14 | 2026年度奨学生<br><br>一般財団法人　誠志ツルヤ奨学会 | 下記のすべてを満たしていることが必要<br>(1) 令和8年4月、大学に新たに進学した新1年生で且つ食品及び直接食品に関連する分野で学ぶ学生（高校既卒者の場合は出身高校の「調査書」が取得できること。成績証明書は不認可。）<br><br>(2) 長野県及び群馬県出身大学生（長野県及び群馬県内の高等学校卒業者で且つ実家が長野県及び群馬県内の方）<br><br>(3) 学業優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な者 | 個人応募 | 大学生：<br>6名程度 | 給付 | 月額3万円（6月と12月に6ヶ月分まとめて支給） | https://www.tsuruya-corp.co.jp/scholar/terms/ | 2026年5月12日（火）必着 | 郵送 | - | 6月中旬から下旬に行う奨学金授与式への出席は義務。証明できる資料を添付した正当な理由の提出なく欠席した場合は資格を取り消します。※その他報告義務、出席義務がありますのでホームページから確認してください。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 13 | 2026年度奨学生<br><br>T・O環境財団 | (1)地球環境保全、廃棄物リサイクル等に関連する教育過程を選択している学生であること<br>(2)学業が優れ、品行が正しく、かつ、健康である者<br>(3)日本国籍を有している者<br>(4)保護者(または未成年後見人等)の同意を得ている者<br>(5)本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ではないこと。<br>(6)東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、愛媛県、高知県、香川県、徳島県及び福岡県にある大学に通学していること、または通学することになる者。 | 個人応募 | 2026.4.1現在大学4年生:<br>10～20名程度<br>大学院1年生:<br>10～20名程度<br>大学院は翌年度は審査を経て延長あり | 給付 | 月額5万円<br>(年額60万円) | https://to-zaidan.org/#requirements-sp | 2026年2月1日(日)～ 2026年4月15日(水) | ガクシー<br>(https://gaxi.jp/)<br>の当財団ウェブページより応募して下さい。<br>応募ウェブページに従い、必要事項の記入及び書類を添付していただきます。 | ― | 6月までにWEB面談後選考結果通知 |
| 12 | 2026年度<br>新2・3・4年生対象応援給付金<br><br>公益財団法人キーエンス財団<br>(Keyence Foundation) | 以下のいずれの各項にも該当する者<br>・日本の大学に在籍する大学生(2026年度の新1年生を除く)である者(4年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。)<br>・2026 年 4 月 1 日現在、23 歳以下である者<br>・最短修業年限にて卒業の見込みがある者<br>・昨年までの「がんばれ！日本の大学生」応援給付金を受給していない者<br>・当財団の奨学生ではない者<br>・勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生<br>※ Only for the Japanese students. | 個人応募 | 全国： 5,000名程度 | 給付 | 30万円(1回限り) | https://www.keyence-foundation.or.jp/scholarship02/ | 予備選考 Web 登録:2026年3月2日(月)～4月15日(水) 午前10時<br>本選考 ①書類提出:2026年4月 21日(火)～5月8日(金) 締切当日消印有効<br>② Web登録:2026年 4月21日(火)～ 5月8日(金)午前10時 | (予備選考) Web登録<br>(本選考) Web登録及び郵送 | ― | ・一次選考のWeb登録後、一次選考通過者は書類提出及びWeb登録(期間:4/21～5/8)<br>※他の奨学金等との併用についての制限はありません。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 2027年度奨学金<br>公益財団法人 飯島藤十郎記念食品科学振興財団 | (1)以下のすべてを満たす方を募集対象とします。<br>① 日本国籍を有する方。<br>② 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)及び大学院設置基準(昭和 49 年文部省令第 28 号)に基づき日本国内に設置されている大学院に修士又は博士の学位の取得を目的として入学することを希望し、2026 年度に大学院の入学試験を受験する方、又は応募時点で左記の教育課程に在籍している方(博士課程(博士後期課程)の最終学年に在籍されている方を除く。)。<br>③ 前号の大学院において食品科学等の分野を専攻し、将来、社会に貢献しようとする意欲を有している方。<br>④ 経済的理由により修学のための奨学金を必要としている方。<br>(2)以下の方は募集対象外とします。<br>① 会社等の正職員としての籍を有する方(いわゆる社会人大学院生)。<br>② 公的制度による資金や在籍する大学院の奨学金(いずれも返済不要のもの)によって、合計で月額 20 万円以上の経済的支援を受けている方、又は受けることが決定している方。<br>③ 他の民間団体から、金額に関わらず、奨学金(返済不要のもの)を受給している方、又は受給することが決定している方。<br>(注1)②のうち、公的制度による経済的支援を受けている方の範囲は以下とします。<br>・(独)日本学術振興会の特別研究員-DC<br>・(国研)科学技術振興機構(JST)の次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)の選抜学生<br>・(国研)科学技術振興機構(JST)の科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業の対象学生<br>(注2)①～③に該当する方であっても、以下の方は本奨学金に応募できます。<br>・①に該当するが、2027 年3月末までに退社予定の方(奨学金受給申請書の「学歴・職歴」欄に退社予定時期を記入して下さい)<br>・②又は③に該当するが、2027 年3月末までに受給が終了する方(奨学金受給申請書の「当財団以外の経済的支援の状況」欄に現在の受給状況と今後の予定を記入して下さい)<br>(注3)現在②、③のいずれも受給していないが、今後受給資格を得る可能性のある方(応募中、応募予定など)も、本奨学金に応募できます(奨学金受給申請書の「当財団以外の経済的支援の状況」欄に併願状況や今後の予定を記入して下さい)。ただし、本奨学金及び②、③に合格された方には、いずれを受給されるかを選んでいただきます。<br>(注4)在籍されている大学・大学院においてティーチングアシスタント(TA)・リサーチアシスタント(RA)の報酬を得ている方や、授業料減免を受けている方(いずれも予定を含む)も、本奨学金に応募できます。本奨学金に合格されても、TA・RAの報酬や授業料減免を辞退される必要はありません。<br>(注5)重複受給については、上記のほか、(注1)の資金や進学・在籍される大学院の規則にも従って下さい。<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 修士・博士<br>合わせて<br>30名程度 | 給付 | 月額23万円<br>2027.4.1から<br>標準修学年限まで | https://www.iijima-kinenzaidan.or.jp/scholarship/ | 2026/4/1(水)9時　～<br>2026/5/20(水)17時まで | 奨学金情報サイト「ガクシー」登録後「ガクシー」の申請システムから直接応募 | — | 2026年7月上旬に書類選考の合否と面接案内(東京近郊8/6又は8/7)を通知、9月下旬から10月上旬に最終合否通知。 |
| 10 | 公益財団法人 本庄国際奨学財団<br>(HONJO International Scholarship Foundation) | (1) 学位の取得を目的として、日本以外の海外の大学院に留学中または留学予定の者。申請時にすでに留学途中または2026年秋に留学先に在籍する予定があれば申請時に留学先に在籍していなくても応募可能です。<br>(2) 日本国籍を有するもの<br>(3) 博士課程は35歳まで、修士課程は30歳までに入学するまたは入学していること。<br>(4) 留学先の大学、専攻分野に指定はないが、語学研修は不可。<br>(5) 留学先の国に渡航しないままオンライン等のみで修学する場合は、応募できません。<br>(6) 大学院修了後は、日本において勤務することを確約できる者。修了後直ちにということではありませんが将来的に日本で勤務する希望があれば結構です。<br>(7) 国際親善に理解をもち、貢献を期する者。<br>(8)専門職大学院は原則的に対象外。<br>(研究計画書を提出できる場合は応募可能とします。)<br>※Only for the Japanese students. | 個人応募 | 若干名 | 給付 | (USﾄﾞﾙの場合)月額<br>＄2500を1～2年間月額<br>＄2250を3年間<br>月額＄1875を4～5年間のいずれか、及び<br>国際学会参加のための助成金(年度内1回上限 20万円)、授業料のための助成金(上限50万円) | https://www.hisf.or.jp/scholarship/abroad/ | 2026/02/02(月)～<br>2026/4/30(木)(オンライン申請稼働期間) | 奨学金オンライン申請システム→<br>https://entry.hisf.or.jp/<br>(このシステムは2026年2月 2 日よりアクセス可能となります) | — | ※オンライン申請受付番号は書類審査発表に使用しますので必ず控えておいてください。 |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 公益財団法人　日本通運育英会 | 以下のA～Dの要件をすべて満たす学部学生<br>A. 交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害（※1）を負った方。あるいは、学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。（※2）<br>（※1）保護者等の重度の心身障害とは、次のいずれかに該当することを言う。<br>（心身障害等の原因が交通事故であることが条件になります。）<br>1. 障害者手帳　　1～4級<br>2. 精神障害者手帳　1～3級<br>3. 自動車損害賠償保障法施行令<br>別表第1及び第2の1～7級<br>（※2）学生本人の場合は、上記（※1）を適用せず、軽度であってもその障害もしくは傷病と交通事故との因果関係が交通事故証明書、診断書等で認められれば、対象者となります。<br>B. 2026年4月1日現在で、18歳以上25歳以下の方。<br>（高等学校在学中の予約採用は行っていないため、高校3年生の方は大学入学後、4月に本人から申請するよう願います。）<br>C. 経済的に修学が困難であると認められる方。（募集要項記載の応募基準を満たす方。）<br>D. 学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。 | 個人応募 | 20名 | 給付 | 月額3万円 | http://www.nittsu-ikueikai.or.jp/#requirements | 2026/4/1日（水）<br>～5月15日（金） | 郵送・必着 | ― | ※基準等は当該奨学団体のHP,募集要項を確認のこと。 |
| 8 | 一般財団法人　田渕育英財団 | 以下の条件をすべて満たす方が応募できます。<br>（1）2026年4月度における商船系大学の新3年生<br>（2）船員を志望する意思が強固で、海技士免状取得を目指していること<br>（3）向上心に富み、学業優秀であり、かつ品行方正であること<br>（4）在籍する教育機関の学校長または学部長の推薦を得ることができること<br>（5）生計を同一とする保護者等の同意を得ることができること※1<br>※1<br>社会人経験者等ご自身が主な生計者である場合や、生計を同一とする保護者等がいない場合は、当該同意書は不要です。その場合は、所定書類の「応募理由」欄にその旨を併記して下さい。 | 個人応募 | 15人 | 給付 | 月額　3万円<br>（年間　36万円） | https://www.tabuchi-ikueizaidan.or.jp/ | 2026年5月15日（金）<br>当財団事務局必着 | レターパック<br>もしくは<br>簡易書留等<br>で郵送 | ― | 給付期間：奨学生として採用した年の4月から、原則として正規の最短修業年限の終期まで。<br>但し、4年生大学における乗船実習学科就学期間を除きます。 |
| 7 | 2026年度新1年生対象給付奨学金<br><br>公益財団法人キーエンス財団<br>（Keyence Foundation） | 以下のいずれの各項にも該当する者<br>・2026 年 4 月に日本の大学に入学する者<br>（4 年制の学部・学科生に限る。ただし通信教育課程及び夜間学部生、並びに留学生を除く。）<br>・2026 年 4 月 1 日現在、20 歳以下である者<br>・経済的な支援を必要とする者<br>※ 日本学生支援機構を含む他の奨学金との併用について<br>（併用とは、当財団の奨学金に加え、期間を一部でも重複して他の奨学金を受給すること）<br>・貸与型奨学金：併用可<br>・給付型奨学金：併用不可（ただし海外留学支援の奨学金は併用可）<br>・国の修学支援制度による授業料等減免：併用可<br>・大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額又は免除される制度：併用可<br>※ Only for the Japanese students. | 個人応募 | 全国：1500名程度 | 給付 | 月額12万円<br>（年額144万円） | https://www.keyence-foundation.or.jp/application/ | （一次選考）<br>Web 登録<br>2026/2/2（月）～<br>4月3日（金）午前10 時<br>（ 二次選考 ）<br>書 類：2026/4/9（木）～<br>4/22（水）締切<br>当日消印有効<br>Web 登録<br>2026/4/9（木）～<br>4/22（水）午前10 時 | Web登録 | ― | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 甲斐市奨学金貸付事業 | 以下の要件すべてに該当する必要があります。<br><br>1 学校教育法に規定する高等学校または特別支援学校の高等部、専攻科及び大学（大学院を除く）に在学していること。<br>2 学業及び人物がともにすぐれ、かつ、健康であること。<br>3 学資の支弁が困難であること。<br>4 市の住民基本台帳に登録している者の子弟であること。<br>5 他の制度による奨学資金を受けていない者 | 個人応募 | — | 貸付<br>（無利子） | 1 大学在学者<br>月額2万円<br><br>※貸付を受ける者の進学する最初の月に限り、支度金として別に1か月分を貸付けます。 | https://www.city.kai.yamanashi.jp/soshikinogoannai/kyoikusomuka/kyoikusomukakari/1_1/5063.html | 原則として毎年3月1日から4月30日まで（土日、祝日を除く） | 郵送 | – | 奨学生と決定してから、奨学生が在学する学校の最短就業年限の年度末まで。（大学 最高4年） |
| 5 | 甲斐市若者定住促進奨学金返還支援事業 | 次のすべてに該当する人が対象です。<br>・令和7年4月1日以降に奨学金の返還を開始した人<br>・令和7年4月1日以降に県内事業所等に正規雇用等で就業している人<br>※正規雇用等…1週間の所定労働が30時間以上の被雇用者・個人事業主・自営業者・事業専従者。公務員は除く。<br>・認定申請を行う年度の4月1日時点の年齢が35歳未満の人<br>・認定申請時に市の住民基本台帳に記録され、本市を生活の本拠地としている人<br>・在学期間中に対象となる奨学金の貸与を受けていた人<br>・市税を滞納していない人<br>・他の制度により奨学金の返還に係る補助を受けていない人<br>・甲斐市暴力団排除条例に規定する暴力団、暴力団員又は暴力団員等でない人<br>・風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する性風俗関連特殊営業を行う者でない人 | 個人応募 | — | 返還支援 | (1) 定額月賦返還方式 月額1万円<br>(2) 前号以外の返還方式 年額12万円<br>※交付申請を行う年度の前年度において、補助対象者が市内に居住し、かつ、正規雇用等で勤務した期間が1年に満たない場合は、月額1万円を上限とし、対象となる月数を乗じた額とする。ただし、15日に満たない月がある場合は、その月は対象外とする。<br>※補助金の総額は、120万円を上限とする。<br>（補助対象者の認定） | https://www.city.kai.yamanashi.jp/soshikinogoannai/sangyo/sangyosouzou/15206.html | 期限は甲斐市産業創造係へ問合せください。 | 郵送 | – | |
| 4 | 公益財団法人<br>センコーみらい財団事務局 | （1）文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」の対象者（多子世帯を含む）であり、（高校在学時に「予約採用」で申込み決定した方）<br>（2）2026年4月入学予定の新1年生であること<br>（3）4年制の学部・学科であること（6年制の学部・学科は除く）<br>（4）自宅生は対象外 | 個人応募 | 20名 | 給付 | 自宅外生<br>月額50,000円<br>入学一時金<br>400,000円 | https://senko-mirai- foundation.com/#bosyu | 2026年3月1日（日）～ 2026年4月15日（水） | 郵送・必着 | - | ※奨学金の併給について<br>文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」以外の他制度は原則不可 |
| 3 | 青森県あおもり若者定着奨学金返還支援制度担当<br>(Aomori Pref.) | (1)大学の卒業者で、採用時に35歳未満の方※卒業見込みの方も予め登録可能<br>(2)「日本学生支援機構」または「青森県育英奨学会」の奨学金利用者（給付型除く） | 個人応募 | — | 返還支援 | 150万<br>100万<br>60万<br>のいずれか | https://www.aomori-life.jp/syogakukin/youth/ | 2026/12/28まで<br>（2026年4月1日から2027年3月31日就職者）<br>2027/12/28まで<br>（2027年4月1日から2028年3月31日就職者） | 電子申請郵送<br>電子メール | – | ※他返還支援を受ける場合は県に申告必要。<br>・採用予定者数と支援金額は企業により設定<br>サポート企業からの内定前に、サイトから登録を行う必要があります。登録前に内定を受けた場合は支援対象外となります。<br>※内々定は可<br>サポート企業一覧https://www.aomori-life.jp/syogakukin/members/ |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 千葉県教育庁<br>令和6年度～11年度千葉県公立学校教員採用候補者受検者奨学金返還緊急支援事業 | 千葉県の公立学校教員（高校は除く）になることを強く希望する者のうち、(1)又は(2)に該当する者で、(3)～(5)のすべてに該当する者<br>(1)令和5年度に大学生4年生又は短期大学2年生として在学しており、令和5年度実施の本県の教員採用選考に合格した者<br>(2)令和6年度時点、高校3年生から大学4年生で令和7年度から令和11年度新規採用者<br>(3)日本学生支援機構の第一種奨学金を返還予定又は返還中の者<br>(4)大学等を卒業した者又は卒業予定の者<br>※ 大学等には短期大学も含む<br>(5)千葉県の教員採用選考を通過した直近の4月1日に、本県の小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の教諭として就業し、採用後11年経過するまでの期間、勤務する予定の者 | 個人応募 | 要件を満たす者全員 | 返還支援 | 卒業前4年間に日本学生支援機構第一種奨学金として貸与を受けた額以内 | https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/syokuin/ninyo/r07/syougakukinzigyou.html | 教員採用選考を受検する前年度の 2月末日まで<br>※最終：2028/8/27（日） | オンライン | ― | |
| 1 | 全国大学生協連奨学財団たすけあい奨学制度 | 在学期間中に扶養者を亡くされた学生（扶養者死亡日から1年以内の応募に限る） | 個人応募 | － | 給付 | 120,000円を一括支給<br>（扶養者死亡から卒業までの期間が5カ月以内の場合は、1カ月につき24,000の割合で給付） | 一般財団法人 全国大学生協連奨学財団（たすけあい奨学制度）<br>（univcoop.or.jp） | 扶養者死亡から1年以内 | 応募フォーム・郵送 | - | |